

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立四季の森公園

指定管理者 : 横浜緑地・西武造園グループ

施設所管課(事務所名) : 横浜川崎治水事務所

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月30日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
11月	12月10日	12月28日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
12月	1月11日	1月31日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
1月	2月10日	2月28日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
2月	3月10日	3月28日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
3月	4月11日	4月14日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

- 公園に生息生育する動植物の現況把握を行い、それをもとに里山の仕組みを現代に活かす、または昔に戻す等を考慮した「里山らしさの向上」、「種の保存や生物多様性の向上」を目指します。
- 私たちは、車いす利用者や高齢者、ベビーカー利用の方でも利用しやすい公園にするため、障害者の方などに公園施設を実際に利用して頂き、改善に向けたご意見を頂き、できる限り段差を少なくするような整備を検討します。
- QRコードを利用し、詳細な自然情報を提供します。
- 池の各種調査を定期的に行い、結果に基づき県と協議し管理計画を策定します。
- トイレの徹底清掃を心がけ、草花を飾る「トイレ花一輪」活動を続けます。

<実施状況>

- 里山研究会などのボランティアと共同で公園巨木調査や森林管理と植生調査を行い、植物管理資料の充実を図ると共に、公園の自然解説として来園者に広報した。また公園で動物調査を行った大学関係者と公園生物発表会を開催し、近隣のズーラシアからの参加を得るなど地域的施設との連携を図った。
- カートを利用した障害者の公園案内を行い、要望の多いトイレの手摺設置や砕石舗装による地盤嵩上げ、鉄板敷きによる入口段差の解消、園路横断側溝のグレーチングを細目に交換するなどの整備を行った。
- QRコードを貼った樹名札を設置し、詳細な自然情報の提供に努めた。
- 夏場の渇水期に、池底での堆積物の深さを測量し、図に表すことで堆積物の撤去の必要性について具体的な資料を作成した。
- トイレの徹底清掃を心がけ、納豆菌による尿石除去や臭気軽減を図った。また植物管理で発生した季節の草花を飾る「トイレ花一輪」活動を続けた。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)			
年間予算額	90,259	78,330	0 (0)	11,929 (11,929)	90,259	0
上半期計 (a)	46,514	38,961	0 (0)	7,553 (7,466)	43,240	3,274
下半期計 (b)	43,706	39,369	0 (0)	4,337 (4,325)	45,116	-1,410
10月	6,197	5,091	0 (0)	1,106 (1,085)	5,577	620
11月	9,608	8,415	0 (0)	1,193 (1,151)	10,655	-1,047
12月	6,892	6,395	0 (0)	497 (392)	6,384	508
1月	7,409	6,910	0 (0)	499 (653)	6,093	1,316
2月	6,536	6,026	0 (0)	510 (332)	4,687	1,849
3月	7,061	6,532	0 (0)	529 (712)	11,718	-4,657
合計 (a+b)	90,220	78,330	0 (0)	11,890 (11,791)	88,357	1,864

1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

（今期に行った資本的な収入及び支出の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	特になし	
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	381,776人	384,584人	△0.7%
下半期計 (b)	299,747人	292,364人	2.5%
10月	115,120人	117,122人	△1.7%
11月	57,990人	44,607人	30.0%
12月	32,804人	29,182人	12.4%
1月	32,909人	35,919人	△8.4%
2月	30,486人	21,616人	41.0%
3月	30,438人	43,918人	△30.7%
合計 (a+b)	681,523人	676,948人	0.7%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	3				10	13
11月	2			1	2	5
12月		2			4	6
1月	1				5	6
2月	2	1			3	6
3月	1	1			18	20

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月		1	1
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・トイレに手摺がほしい。	各トイレに手摺を設置
	・展望台の展望を確保してほしい。	県に相談します。
職員対応	・売店で釣銭を投げてよこした。	偕恵園に改善要求、管理者常駐指示
	・	
事業内容	・右側通行の看板をつけるべき。	散策自由ですが検討します。
	・不審者の通報は警察にと書け。	不審者の確認が必要と考えている。
その他	・公園を全面禁煙にして	禁煙協力の園内放送をしている。
	・犬の糞への苦情	マナーの呼びかけ、放送をしている。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
2月 19日	野外ステージ周辺で草が燃え、来園者の通報で消防署による消火が行われた。（巡回警備と不審者注意看板設置）
3月 15日	菖蒲田トイレ横自販機の釣銭口が焼かれ、警察に通報（巡回警備と不審者注意看板設置）
3月 20日	複合遊具の一部が燃え、消防署による消火が行われた。（夜間巡回警備の見直しと職員の不審者への声掛けを徹底）

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>外来種駆除や希少種に配慮した植物管理を行い、それを利用者に紹介し、公園の価値向上に努めた。</p> <p>一方不審火が発生し、貴重な遊具を焼失してしまったことについて、適切な夜間巡回警備の計画と職員、地域の協力による防止に向けたさらなる取組が必要である。</p> <p>また、知的障害者を採用している売店において、接客態度の悪さが度々指摘されたことについて、「ともしび運動」の一環としての「ともしびショップ」の周知と管理体制強化を図る必要がある。</p>
施設所管課	<p>公園施設への悪戯が増えてきている。特に複合遊具の焼失は、来園者の利用に支えられないのみならず、施設管理者として、夜間巡回警備のあり方を問われているが、常時開放しているため、万全な警備は難しいが、毎日のパトロール時間をずらすなどの工夫の検討が必要である。</p> <p>売店は、ともしびショップとしての運営の仕方に課題があり、利用者への周知と、接客対応について検討が必要である。</p> <p>ビジターセンター展示コーナーの展示の仕方や見せ方、利用方法に課題があり、また炭焼きの臭いや煙に対処する有効な方策がないが、実施に向けた検討を、ボランティアと共に進める必要がある。</p>